



若葉

鴻巣市立下忍小学校 P T A だより 2024.10.10 発

大人の読書離れ、子どもたちは…

校長 野本 昌宏

残暑厳しい9月を終え、朝晩には秋らしさを感じるようになってきました。とはいえ、例年より高い気温は続くとのことですし、ひとたび雨が降ると災害を引き起こすような大雨となるなど、「異常気象」というべき状況が続いています。このような中、群馬県のある小学校では9月に予定していた運動会を急遽11月に延期したそうです。残暑厳しい昨今では、子どもたちや観客の方の健康や安全を考えるとあり得る判断かと思えます。秋の代名詞でもある、紅葉も平地での見ごろは、11月下旬から12月ぐらいといわれているように、いたるところで、「季節のずれ」を感じる今日この頃です。

秋の代名詞と言えば読書もその一つですが先日、文化庁から「令和5年度『国語に関する世論調査』の結果」が発表されました。それによると、一か月に読む本の冊数が、0冊という人が、約6割という結果となっています。本には、電子書籍を含みますが、雑誌、漫画は含まないそうです。また、1,2冊の回答が約3割とのことでした。

「以前と比べて読書量は減っている」と答えた方が、約7割で、その理由として「電子機器(携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機等)で時間がとられる」と答えた方が、最も多く、約4割となっています。これらの結果から、大人の読書離れが進んでいるといえるようです。

一方で、「文字や活字に触れる時間は以前と比べて増えていますか」という問いについては、変わらない、増えているがそれぞれ約3割と、読書以外で活字に触れる機会はそれほど減っていないようです。

ところで、子どもたちの読書量はどうなっていると思いますか？全国学校図書館協議会が毎年実施している「学校読書調査」の結果からは、大人の傾向とは異なった結果となっています。全国の小学4年生から6年生、それに中学生と高校生の1か月に読んだ本の冊数は、2023年6月の調査では、小学生の平均は12.6冊となっています。これは、10年前の2013年の10.1冊と比べると2冊余り増えていて増加傾向にあります。また中学生は、平均5.5冊で、10年前の4.1冊から1冊余り増えています。そして、これは、1954年の調査開始以来最も多い結果となっているとのことでした。

本校でも、読書の推進の1つとして、月曜日の朝読書や読書カードでの記録などを行っています。読書カードでは1～3年生は、30冊読むと、また4～6年生は1000ページ読むと1枚シールを校長室で渡しています。

読書は、自分が経験したことのないことを文字から想像し、新しい世界に連れて行ってくれるものです。10月9日(水)～11月8日(金)は本校の読書月間です。ぜひこの機会にスマホを置いて、子どもたちと本の世界に触れてみるのはいかがでしょうか。

●活動報告●

執行部

9/7(土)執行部部会

9/13(金)執行部役員のお知らせ配布

9/21(土)令和6年度鴻巣市長との意見交換会出席

広報部

9/4(水)カエルマスコット学校に提出

9/10(火) 若葉 発行

9/13(金)交通安全母の会第3回役員会

総務部

活動なし

学年部

1 学年部
活動なし

2 学年部
活動なし

3 学年部
活動なし

4 学年部
活動なし

5 学年部
活動なし

6 学年部
活動なし

厚生部

活動なし

親子で楽しむ郷土料理

下忍小学校の給食でも各地の郷土料理が出るようになり身近に感じるようになりました。そこで鴻巣市の周りにはどんな郷土料理があるのでしょうか。

① いがまんじゅう(鴻巣市)

まんじゅうと赤飯を合わせて蒸した「いがまんじゅう」は甘じょっぱい味わいともっちりとした食感が特徴の料理です。まんじゅうを覆うように赤飯をまぶしてある様が栗のイガのような見た目からいがまんじゅうと名付けられました。

② ゼリーフライ(行田市)

たくさんのジャガイモをベースにニンジンやネギが入っている衣がついていないコロッケのような料理です。小判のような見た目から銭フライから呼び方が変わりゼリーフライと呼ばれるようになりました。

③ 塩あんびん(久喜市、加須市、行田市)

砂糖の代わりに塩を使って味付けをしたあんをもちで包んだ料理。小豆やもち米本来の甘みを塩が引き立てているのが特徴です。塩あんびんが伝わる地域では、収穫祝いを始めとするハレの日によく食べられています。

④ 呉汁(県内全域)

通称、たのくろ豆と呼ばれています。大豆や季節の野菜の旨味、栄養が一杯に凝縮された深い味わいが特徴の料理です。味付けは味噌が一般的だが塩や醤油味にすることもあるそうです。

このように鴻巣市近隣にも多くの郷土料理があります。郷土料理の名前の由来や、料理の特徴など家族で話しながら食べると、いつもと違ったおいしさがあるかもしれませんね。また、その地域の歴史に触れる機会となるので食べながら勉強してみるのも良いでしょう。

図書室からのお知らせ

こんにちは！

長く暑かった夏が終わり、ようやく待ちに待った涼しい季節がやってまいりました。読書にもふさわしい季節の到来です。

食欲の秋、芸術の秋・・・みなさまは、どんな秋を過ごされるのでしょうか。

さて、今年も下忍小では、読書月間の取り組みが行われます。

期間は、10月9日(水)～11月8日(金)の5週間です。

今年も読書スタンプラリーでスタンプを集めたり(しおりをプレゼント予定♪)スタンプラリーが終わった人は、その後、読書ビンゴにも挑戦できます。本好きさんはもちろん、ふだんあまり本を読まない児童の皆さんにも、興味を持ってもらえる企画になっています。

新しい本も続々と入ってきています。今年購入した本の中に、児童のみなさんからのリクエストを参考にしたものも入っていますよ。

図書室は楽しいところ、そして、本は、その世界に入ってみると、楽しい、つらい、嬉しい、悲しい、でも...続きが気になる！

...色々な気持ちが体験できる「読書」・・・大人になってからも、その本で味わった気持ちが残ることも・・・なんだか不思議ですね♪